

地域産業の活性化と 戦略的な産業立地の促進について

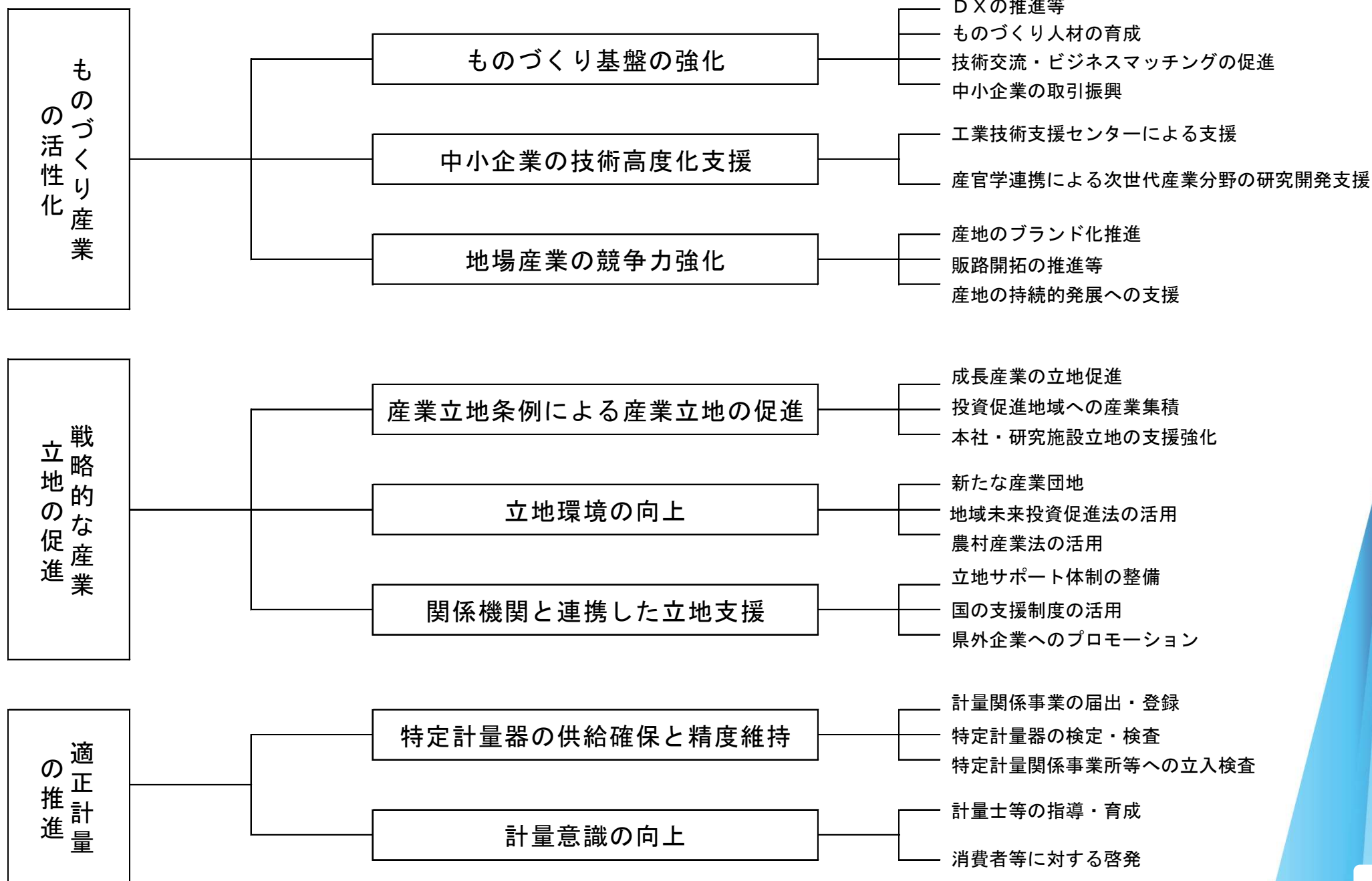
産業労働部
地域産業立地課

目次

令和7年度 地域産業立地課施策体系表	3
I. ものづくり産業の活性化	
1 ものづくり産業の現況	4
2 ものづくり基盤の強化	5
3 中小企業の技術高度化支援	11
4 地場産業の競争力強化	15
II. 戦略的な産業立地の促進	
1 産業立地の状況	19
2 産業立地条例による産業立地の促進	20
3 立地環境の向上	22
4 関係機関と連携した立地支援	24
III. 適正計量の推進	
1 特定計量器の供給確保と精度維持	26
2 計量意識の向上	26



令和7年度 地域産業立地課 施策体系表



I. ものづくり産業の活性化

1 ものづくり産業の現況

(1) ものづくり県兵庫

- 県内製造業は、事業所数・従業者数・製造品出荷額等の全国順位が高く、全国の中でもものづくり県としての地位を占めている。

(2) 本県製造業の特徴

① 業種別出荷額構成比

- 県内の業種別出荷額構成比は、一般機械、鉄鋼、化学、輸送用機械の割合が高い。

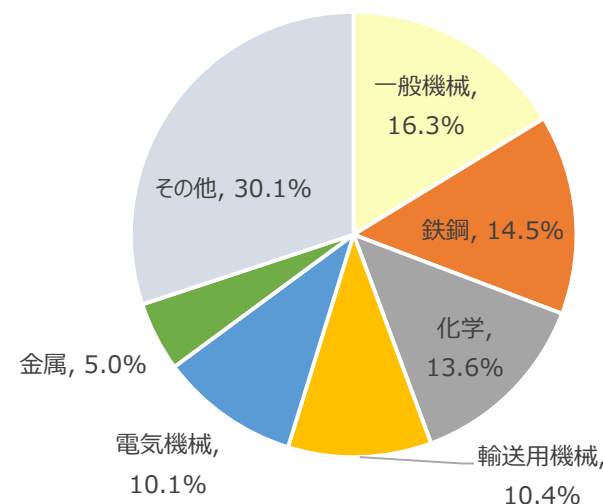
② 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

- 事業所数、従業者数、製造品出荷額等は年々減少していたが、令和4年から増加に転じている。

【製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等】

区 分	R元	R2	R3	R4	R5	全国 シェア	全国 順位
事業所数（社） （前年比）	7,613 （▲2.4%）	7,510 （▲1.4%）	7,106 （▲5.4%）	7,219 （1.6%）	7,249 （0.4%）	3.9%	7位
従業者数（人） （前年比）	364,064 （0.6%）	363,044 （▲0.3%）	347,873 （▲4.2%）	355,619 （2.2%）	359,912 （1.2%）	4.7%	5位
製造品出荷額等 （億円） （前年比）	162,633 （▲1.5%）	152,499 （▲6.2%）	164,145 （7.6%）	182,509 （11.2%）	—	4.9%	5位

【業種別構成】



※出典：兵庫県「令和5年経済構造実態調査（製造業事業所調査）」に関する統計表
 全国シェア・全国順位：総務省・経済産業省「2024年経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

※出典：総務省・経済産業省
 「2024年経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

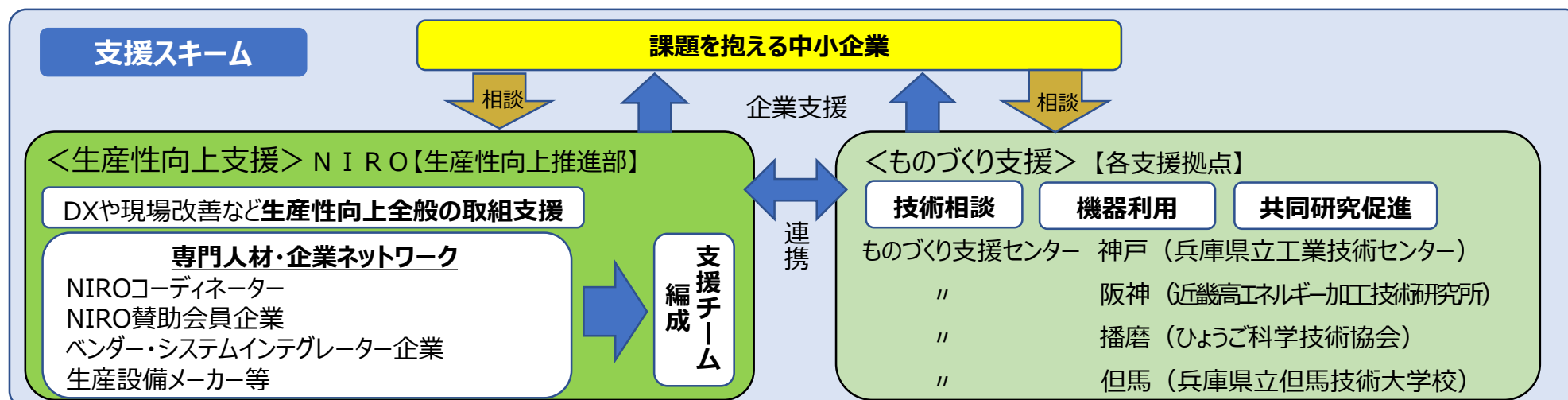
I. ものづくり産業の活性化

2 ものづくり基盤の強化

(1) DXの推進等

① ものづくり支援センターによる生産性向上支援（70,842千円）【拡】

- ・ 中小ものづくり企業に対し、(公財)新産業創造研究機構(NIRO)の専門人材・企業ネットワークを活かしたチーム型支援体制を構築し、DXの推進や、工場の現場改善等の生産性向上に向けた取組全般を支援
- ・ 各支援拠点にて共同利用機器を活用した技術相談や共同研究を推進
（【令和7年6月補正】で追加支援）



【生産性向上支援実績（NIRO）】

区分	R6	R7(8月)
技術相談	437	214
実装に係る提案	181	61
実装件数	21	6

【ものづくり支援実績（各支援拠点）】

拠点	技術相談		機器利用		共同研究	
	R6	R7(8月)	R6	R7(8月)	R6	R7(8月)
神戸	283	109	340	115	2	4
阪神	395	173	220	112	10	2
播磨	238	87	92	35	12	13
但馬	92	47	15	9	5	3
合計	1,008	416	667	271	29	22

I. ものづくり産業の活性化

② ものづくり環境高度化促進事業 (18,000千円)

- ・ 中小企業が新たな分野への進出や事業の多角化を進めるため、プッシュ型での専門家派遣やAI・IoTツールの展示相談会を開催し、生産性向上等を伴走支援【(公財)ひょうご産業活性化センター】

【実績】 専門家派遣数 R6：20社 R7(8月末)：11社
 展示相談会 R6：来場企業数45社



【展示相談会】

③ DX実践・人材育成事業 (40,199千円)

- ・ 企業ニーズに応じた研修の実施により、DXの実践に必要となる人材育成を支援【(公財)新産業創造研究機構(NIRO)】

ア メニュー型 研修メニューの中から、企業が自社ニーズに応じて選択
 イ オーダーメイド型 自社ニーズに基づく研修を企業自ら研修事業者と企画

	R6		R7 (8月末)
	メニュー数	受講企業数	メニュー数※
メニュー型	45	50	33
オーダーメイド型	2	2	5

※ R7年度の研修は秋以降、順次実施予定



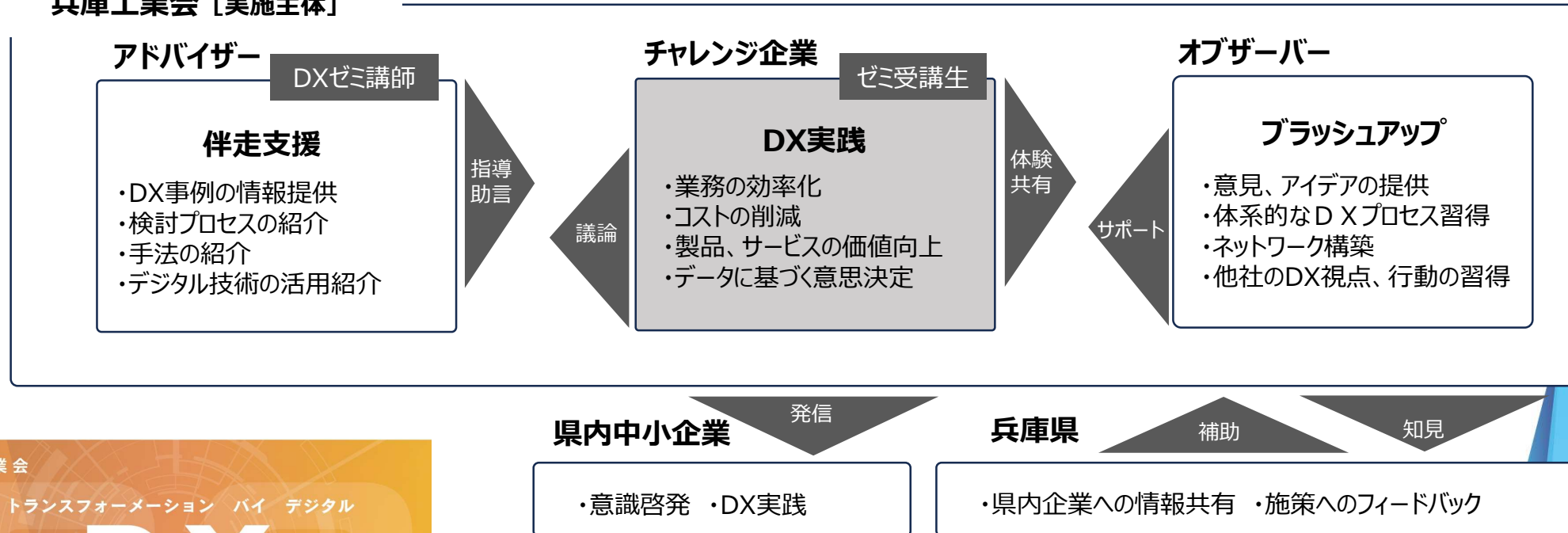
【メニュー型研修（アプリ開発実習）】

I. ものづくり産業の活性化

④ ものづくり中小企業におけるDX実践モデル事業（8,612千円）【新】

- 県内中小企業がDXアドバイザーの指導・サポートのもと実践するDXの取組手法を、モデル事例として広く普及することで、中小企業のDXを促進【(公社)兵庫工業会】

兵庫工業会【実施主体】



【内容】2時間×6回のゼミナール形式
 【DX実践チャレンジ企業】2社
 【オブザーバー】19社・団体

I. ものづくり産業の活性化

(2) ものづくり人材の育成

① 産業技術大学校（4,266千円）

- ・ 中小企業技術者の能力向上を図るため、技術に関する基礎知識の学習や、高度な技術の習得など、ニーズに応じた技術研修を実施 【(公社)兵庫工業会】

【内 容】 機械工学、電気・電子工学、工場生産工学 等

【実施場所】 兵庫県中央労働センター、神戸高専、姫路じばさんびる等

【受講者数】 R6：15教室 142人 R7 (8月末)：6教室 63人



【機械加工と材料特性基礎コース】

② ものづくり基盤技術入門研修（1,300千円）

- ・ 分析・研究に係る基礎的な知識と技術の習得のため、試験研究機器を活用した少人数制の具体的・実践的な実習・講座を実施【工業技術センター】

【内 容】 AI活用画像認識技術等 8コース

【受講者数】 R6：26人 R7 (8月末)：28人



【全自動無縫製横編試作支援システム活用入門研修】

③ ものづくり分野の人材活用促進（4,000千円）

- ・ ものづくり分野における人手不足の解消を図るため、業務仕分け等による文系・女性など多様な人材の活用を促進 【(公社)兵庫工業会】

【内 容】

- ・ 参加企業の業務仕分けなどを通じ、採用の視点から企業の強みを見つめ、発信するための手法を学ぶ「HYOGO採用イノベーションスクール」を実施

【実績】R6：11社 R7 (8月末)：12社



【HYOGO採用イノベーションスクールにおける業務仕分けのワークショップ】

I. ものづくり産業の活性化

(3) 技術交流・ビジネスマッチングの促進

① 国際フロンティア産業メッセ（8,000千円）

- 企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や、新事業創出の基盤となる製品展示、各種講演、セミナー等の多彩なプログラムにより、技術交流・ビジネスマッチングを促進する「国際フロンティア産業メッセ2025」を開催

【国際フロンティア産業メッセ実行委員会】

開催期間：令和7年9月4日(木)～5日(金)

年度	出展企業・団体数(小間数)	来場者数
R6	528社・団体（590小間）	15,400人
R7	550社・団体（609小間）	14,700人



【特別展示 無人飛行艇】



【海外ビジネスセミナー】

(4) 中小企業の取引振興

① 下請中小企業の振興（25,595千円）

- 優れた技術力をもつ下請中小製造業の経営基盤強化等を支援するため、取引に係る相談・助言を実施するとともに、受注機会の増大を図る商談会を開催 【(公財)ひょうご産業活性化センター】

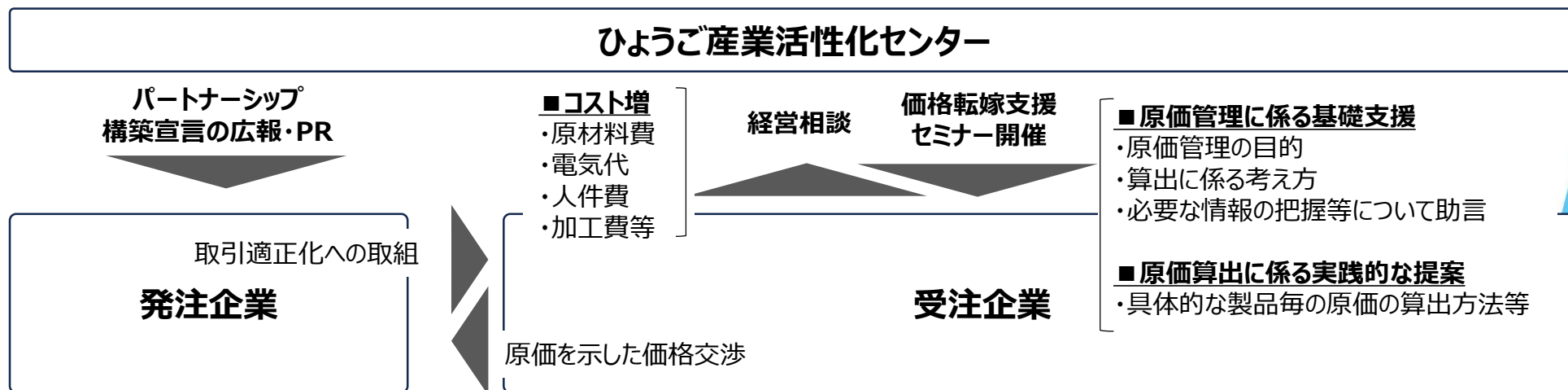
年度	取引あっせん 相談件数	経営・技術 相談件数	苦情等 相談件数	商談会 商談件数
R6	705	524	554	462
R7（8月末）	129	400	242	—

I. ものづくり産業の活性化

② 価格転嫁円滑化伴走支援事業（26,000千円）【拡】

- ・ 県内製造事業者等が適切な価格転嫁を行い、事業活動の持続可能性を高めるための対策を実施し、円滑な価格転嫁を支援【(公財)ひょうご産業活性化センター】
- ・ 価格転嫁推進員を設置し、価格転嫁への取組に関する相談等に対応
- ・ 中小企業診断士等を派遣し、事業者の価格交渉を伴走支援（【令和7年6月補正】で追加支援）
【支援件数】 25件（8月末）
- ・ 発注企業、受注企業向けセミナーの開催
【参加者数】 発注企業向けセミナー：97名 受注企業向けセミナー：52名（8月末）
- ・ パートナースhip構築宣言事業のPR

支援イメージ



I. ものづくり産業の活性化

3 中小企業の技術高度化支援

(1) 工業技術センターによる支援

① 工業技術センターの概要

- ・ 総合的な試験・研究支援機関として、ものづくり技術分野を広く支援するセンター神戸、繊維・皮革・金属分野の技術を支援するセンターを設置
- ・ 各センターに幅広い専門分野の研究員を配置し、中小企業や地場産業の技術の高度化を支援

事業内容

技術相談	総合相談窓口・ハローテクノを開設し、相談内容に応じて各支援へ案内
機器利用	センターが保有する機器・設備を企業へ時間貸し
技術支援	オーダーメイドの試験分析・試作、受託研究、共同研究
シーズ研究	技術課題の研究、大学との共同研究
人材育成	技術入門研修、技術講習会を実施
企業間連携	分野別研究会の活動支援
情報提供	研究成果発表会、展示会出展

施設配置

繊維工業技術支援センター (西脇市)

播州織等、
繊維、織物の
試験研究及び
技術支援



金属新素材研究センター (県立大学姫路工学キャンパス)

金属3D積層
プリントを活用した
金属素材開発と
技術支援



皮革工業技術支援センター (姫路市)

皮革、革製品の
試験研究及び
技術支援



研究員数
42名
(R7.4.1時点)



本所 (センター神戸) (神戸市須磨区)

無機材料、化学材料、食品・バイオ、
金属・加工、機械システム、電子・情
報技術等の試験研究及び技術支援



航空産業非破壊検査トレーニングセンター (センター神戸内)

航空産業の非破壊検査員養成のため、
国際認証基準に準拠した国内初の訓練
機関を設置



I. ものづくり産業の活性化

② 技術相談・支援（10,066千円）

- ・ 各センターに相談窓口を設置し、技術相談に対応
- ・ 来所が困難な相談に対し研究員等が現場を訪問し、技術的な助言等を実施

区分	R6	R7（8月末）
相談件数（件）	10,664	4,234
企業訪問数（社）	123	55

相談内容の例	対 応
環境負荷を低減して開発した「黒いぶし瓦」を評価したい	「黒いぶし瓦」の生成メカニズムを分析し、従来製法と色味に影響がないことを解明
製品から放射される電磁波ノイズを調べたい	電磁波ノイズを測定する方法を指導するとともに、ノイズ発生源を解明
高齢者向けのリモコンを開発したい	操作性評価により、高齢者が操作しやすい色や文字の大きさを工学的側面から設計

③ 機器利用・共同研究等（160,235千円）

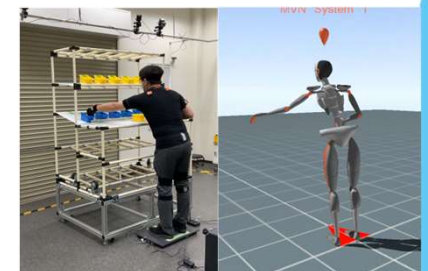
- ・ 工業技術センターの保有機器の中小企業による利用や、中小企業の依頼に応じた試験・分析、結果に基づく指導助言等（テクノトライアル）を実施
- ・ 工業技術センターと大学・企業がプロジェクトチームを組成し、共同研究等を推進

区分	R6	R7（8月末）
機器利用件数	12,953	5,544
試験・分析件数	353	138
テクノトライアル件数	739	319
企業との共同・受託研究件数	57	32
大学との共同研究件数	44	19

〔工技センターの機器〕 走査型電子顕微鏡、金属積層3Dプリンタ、マイクロX線CTスキャナー等



【中小企業技術者による機器利用】



【共同研究（作業動作の計測による現場の作業改善）】

I. ものづくり産業の活性化

④ 企業間連携・産学官連携

ア 企業、大学等との連携推進

(ア) 兵庫県工業技術振興協議会との連携

- 異業種・異分野の県内ものづくり企業（約410社）で組織される兵庫県工業技術振興協議会と連携し、ひょうご技術交流大会や各種講習会、調査研究等の活動を実施



【ひょうご技術交流大会】

(イ) 大学との連携

- 工業技術センターと大学が連携協定を締結し、企業の技術・製品開発等のニーズと、大学のシーズをつなぐ共同研究を推進

【連携協定締結大学】

神戸大学、兵庫県立大学、京都工芸繊維大学、同志社大学、東北大学



【加硫ゴム3Dプリンタ(神戸大学と連携)】



【金属3D造形(兵庫県立大学と連携)】

イ 知的財産の創出・活用と技術移転の促進

- 職務発明の認定から特許の取得、維持、活用など、プロジェクト研究等で生じた知的財産をマネジメント

【特許等保有件数】

R6 : 31件



【特許技術を活用したウェットスーツ】



【特許技術を活用したバイオプラスチック塗料】

I. ものづくり産業の活性化

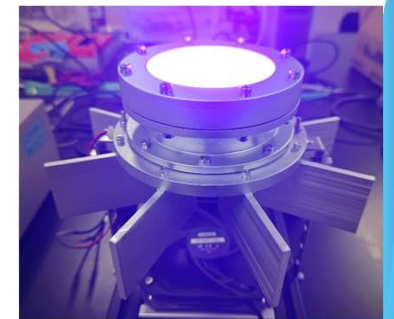
(2) 産学官連携による次世代産業分野の研究開発支援 (71,150千円)

- 産学官連携による萌芽的な研究調査や本格的な研究開発を目指す初期の研究プロジェクトを支援
【R6年度までに終了した支援研究プロジェクト件数 290件】

区分	可能性調査・研究	応用ステージ研究	コンソーシアム発研究
対象産業分野	①水素等エネルギー（蓄電池含む）、環境 ②航空産業、ドローン、空飛ぶクルマ ③ロボット・AI・IoT ④健康医療産業 ⑤半導体		成長産業育成コンソーシアムの4分野（ロボット・AI・IoT、航空・宇宙、環境・エネルギー、健康・医療）
1 課題あたりの補助金額	10～100万円	100～1,000万円	10～1,000万円
補助期間	1 年間	原則 1 年間(最大 2 年間)	最大 2 年間
R7採択件数	3 件	5 件	3 件

○実用化事例

プロジェクト名	陸上養殖における環境に優しい革新的な除菌システムの開発
プロジェクトメンバー	公益財団法人ひょうご科学技術協会（神戸市）、株式会社セシルリサーチ（姫路市）、兵庫県立工業技術センター（神戸市）、鳥取大学地域価値創造研究教育機構、クルーシャル・クーリング・パフォーマンス株式会社
研究内容	陸上養殖において頻発する魚病被害を防止するため、人や環境に優しい可視光を利用した除菌システムを開発した。 【成果】経済産業省「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)」に採択された（補助額6,000万円、3年間）。また、試験装置として、海洋エンジン会社や船舶会社への販売も行っている。



【可視光を利用した除菌システム】

I. ものづくり産業の活性化

4 地場産業の競争力強化

(1) 地場産業の現状

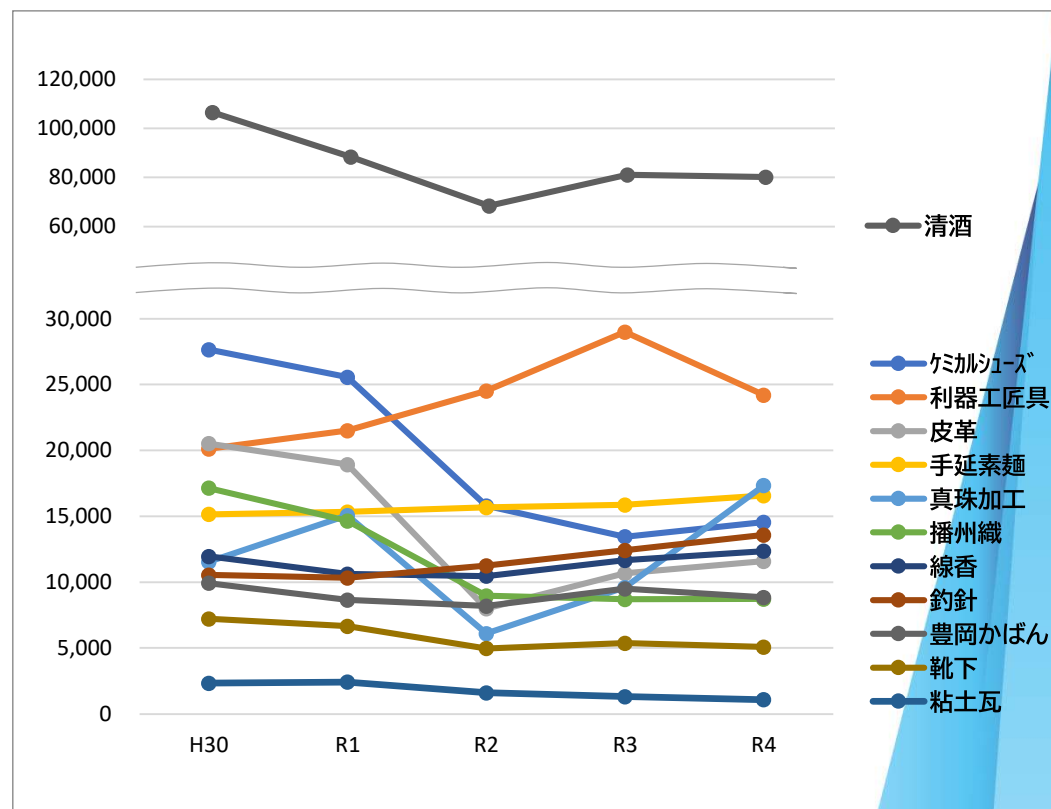
- ・ 県内には37の地場産業が集積
- ・ 生産金額の大きい主要産地では、清酒、ケミカルシューズ、皮革、手延素麺、真珠加工、播州織、線香、釣針、豊岡かばんが全国第1位のシェアを誇り、全国的にも著名な産地
- ・ 地場産業全体として、消費者ニーズの多様化や安価な輸入品の増加等により、生産額が逡減傾向

○主要な地場産地

地場産業	主な産地	生産金額(百万円)			企業数			全国順位
		R3(A)	R4(B)	増減(B-A)	R3(C)	R4(D)	増減(D-C)	
清酒	県内全域	81,035	80,173	▲862	71	70	▲1	1位
ケミカルシューズ	神戸市	13,457	14,560	1,103	60	60	0	1位
皮革	姫路市、たつの市	10,664	11,590	926	248	244	▲4	1位
利器工器具	三木市周辺	28,997	24,206	▲4,791	134	132	▲2	4位
手延素麺	たつの市周辺	15,871	16,580	709	395	391	▲4	1位
真珠加工	神戸市	9,614	17,347	7,733	76	74	▲2	1位
播州織	西脇市周辺	8,707	8,733	26	113	104	▲9	1位
線香	淡路市	11,680	12,364	684	15	15	0	1位
釣針	加東市、西脇市周辺	12,419	13,597	1,178	64	63	▲1	1位
豊岡かばん	豊岡市	9,511	8,862	▲649	61	75	14	1位
靴下	加古川市周辺	5,369	5,094	▲275	50	48	▲2	2位
粘土瓦	南あわじ市	1,314	1,091	▲223	65	63	▲2	3位

※出典：経産省「令和5年経済構造実態調査」、各産地組合調査(R4時点)

○地場産業の生産額推移



※出典：経産省「令和5年経済構造実態調査」、各産地組合調査(R4時点)

I. ものづくり産業の活性化

(2) 産地のブランド化推進

① NEXTじばさん推進プロジェクト事業（126,022千円）【拡】

- 地域の経済・雇用の中核を担ってきた地場産業の持続的な発展を図るため、産地のブランド力向上の取組に加え、産地の現状を踏まえた戦略的な計画策定と事業展開を支援

ア 産地のブランド力向上の取組支援

- 地場産業のブランド力の強化を図るため、国内外販路開拓や若手人材の育成等の取組を支援

【対象者】産地組合等

【補助件数】13件

（【令和7年6月補正】で追加支援）

イ 戦略的な中期ビジョンの策定支援

- 産地の課題の気付きの機会となるセミナーの開催や、経営戦略策定の専門家等のコーディネートによる産地の現状分析、ビジョン策定、重点取組の決定を支援
- 産地が策定したビジョンで決定した重点取組に基づく事業展開を支援

【戦略策定予定産地】6産地組合

② 伝統的工芸品の振興（1,120千円）

- 長い歴史と地域の風土に培われ、優れた伝統的技術を有する伝統的工芸品の振興を推進
- 令和7年8月に三田青磁を県伝統的工芸品に指定（平成27年度の皆田和紙以来の指定）

【県内工芸品指定数】国指定：7品目、県指定：27品目



【大阪・関西万博でのPRイベント(日本酒)】

産地	支援内容
ケミカルシューズ	台湾での販路開拓
線香	海外向け新商品開発

【米国関税措置支援例(6月補正)】



【中期ビジョン策定支援セミナー】



【三田青磁】

I. ものづくり産業の活性化

(3) 販路開拓の推進等

① 皮革産業の振興

ア ひょうご天然皮革の需要開拓（18,933千円）

- 兵庫県皮革産業協同組合連合会と連携し、天然皮革のブランド化による国内外での需要開拓を促進



【ひょうごニューレザーコンテスト】



【コラボレート製品(皮革×豊岡かばん)】



【東京レザーフェア】

イ 技術力の向上

- 皮革工業技術支援センターにおいて、技術相談・指導や研究開発、技術者養成を実施し、皮革業界の技術力向上を支援

区 分	依頼試験	機器利用	技術相談・指導	巡回技術指導
R6	275件	51件	1,315件	89件
R7 (8月末時点)	97件	62件	689件	43件



【皮革技術者養成】

ウ 皮革排水処理対策の推進（115,300千円）

- 揖保川流域及び市川流域下水道で皮革排水を処理している関係市町（姫路市、たつの市、太子町）に対し、皮革排水処理にかかる財政負担を軽減する助成を実施

I. ものづくり産業の活性化

(4) 産地の持続的发展への支援

① じばさん「ひょうご国」プロジェクト事業（39,000千円）【拡】

ア 万博会場における地場産業ブース出展

- ・ 地場産業の主な産品や、産地間コラボ商品の展示、出展者によるワークショップなど、兵庫県の地場産業を国内外の来場者にPRし、フィールドパビリオンへの誘導を促進

イ ひょうごEXPOweek「ひょうごの成長産業と地場産業」集客イベント開催

- ・ 産地間コラボレーションにより新たな魅力を開拓した地場産品を紹介、展示販売する「ひょうご国」イベントを開催



【万博会場での地場産業ブース出展】



【R7大丸神戸店でのイベント】



【コラボレート商品(播州織 × 豊岡鞆)】

② 神戸空港国際化に伴う地場産業海外展開支援事業（7,500千円）【新】

- ・ 神戸空港国際化を踏まえ、県内地場産業の海外展開を視野に入れた現地販売会等への出展を支援

③ 地域での需要開拓・販路開拓（3,400千円）

- ・ 地域に大きな役割を果たす地場産業を総合的に支援するため、地場産業振興団体が取り組む需要開拓・販路拡大の事業を支援

団体名	事業内容
(公財)神戸ファッション協会	「ひょうごじばさんフェア2025」の開催
(一財)但馬地域地場産業振興センター	豊岡かばん、杞柳製品、出石焼などのPR



【ひょうごじばさんフェア2025】

Ⅱ. 戦略的な産業立地の促進

1 産業立地の状況

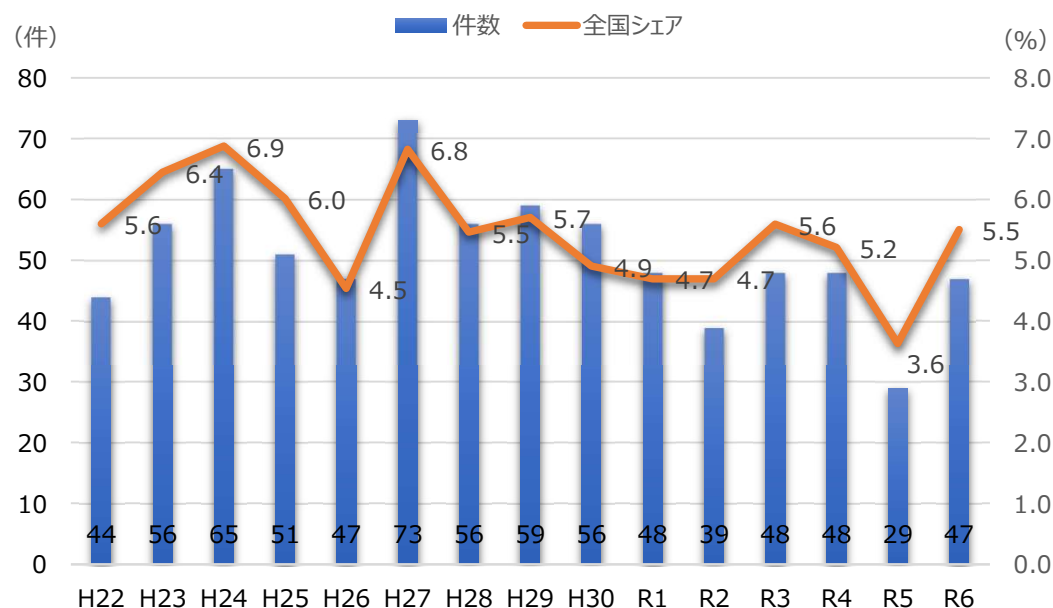
(1) 工場立地動向調査における工場立地件数

- 令和6年工場立地動向調査において、工場立地件数は全国854件（R5:799件）、兵庫県47件（R5:29件）と増加に転じた。

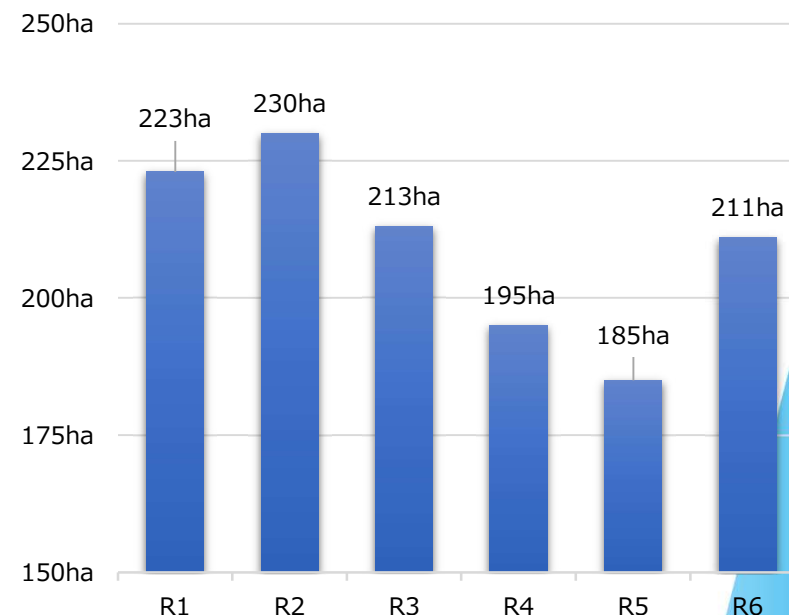
(2) 全国上位水準の工場立地実績

- 本県の工場立地件数は過去21年（H16～R6）にわたり西日本1位を維持
- 近畿2府4県に限れば過去51年（S49～R6）にわたり1位を維持
- 県内の地域別の傾向としては、産業団地が豊富な北播磨や、交通アクセスがよく、港湾等の産業インフラが充実している東播磨への立地が多い。

年別工場立地件数（過去15年）



工場適地面積



工場立地法に基づく工場立地動向調査

※「全国シェア」・・・本県の立地件数を全国の立地件数で除した数値

（出典）工場立地法に基づく工場適地調査

Ⅱ. 戦略的な産業立地の促進

2 産業立地条例による産業立地の促進

(1) 成長産業の立地促進

- 産業雇用分野での県政運営の基本的な考え方や施策の方向性を示した「ひょうご経済・雇用戦略」において指定された次世代成長産業（新エネルギー・環境関連、航空、ロボット、健康医療、半導体）の立地を促進するため、産業立地条例に基づき重点的な支援を実施
- 通常 3 % の設備補助率を水素関連産業は **10%**、その他重点立地促進事業は **7%** とし、経済成長の牽引や社会課題解決を担う企業の立地を県内全域で後押し
- 中小企業の投資額要件を10億円から全県 **1 億円** に引き下げ
- 設備補助額の上限100億円は全国トップクラスの水準

○重点立地促進事業（例）

（１）新エネルギー、環境	（３）ロボット産業
①次世代エネルギー ・水素製造装置 ・水素燃料エンジン・水素用タンク	・介護ロボット ・物流用搬送ロボット
②蓄電池 ・リチウムイオン電池・大容量蓄電池	（４）健康医療産業
③環境 ・生分解性プラスチック	・医薬品 ・バイオ3Dプリンター ・新型コロナウイルス向けワクチン
（２）航空産業	（５）半導体産業
・航空機・ドローン・空飛ぶクルマ	・次世代半導体 ・半導体製造装置

○設備補助率

地域	通常	重点支援業種	
			水素 関連
多自然	5 %	7 %	10 %
ハイリア	5 %	7 %	10 %
一般	3 %	7 %	10 %

○設備補助要件（全県共通）

企業規模	投資額要件
大企業	20億円
中小企業	1 億円

<参考> 産業立地条例改正後の活用状況

- 条例改正以後、計**127件**の立地で本制度を活用予定（事業確認実績：R5:42件、R6:61件、R7:24件（R7.8末時点））
- 活用予定企業のうち、中小企業が**約 7 割**（89件）を占める
- 重点立地促進事業も**全体の約3割**にあたる36件にのぼるなど、成長産業の立地促進に寄与

Ⅱ. 戦略的な産業立地の促進

(2) 投資促進地域への産業集積

① バイエリア地域

- 大阪・関西万博の開催、カーボンニュートラルポートの取組などで国内外の企業から関心を集めるバイエリア地域への更なる投資を促進するため、産業立地条例における投資促進地域に位置づけ

② 多自然地域

- 過疎化や少子高齢化が進む中、企業誘致が地域活性化に効果的である一方、交通利便性や労働力供給の面で立地条件が不利であることから、バイエリア地域と合わせて投資促進地域に指定
- バイエリア地域、多自然地域ともに、通常 3 % の設備補助率を **5 %** にするなど立地支援内容を強化

多自然地域（9市6町）

西脇市、多可町、神河町、赤穂市、
宍粟市、たつの市（新宮町）、上郡町、
佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、
新温泉町、丹波篠山市、丹波市

バイエリア地域（14市2町）

神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、
宝塚市、明石市、加古川市、高砂市、
稲美町、播磨町、三木市、姫路市、洲本市、
南あわじ市、淡路市



(3) 本社・研究施設立地の支援強化

① 本社事業所

- テレワークの普及やBCP対策の必要性などから、企業の地方移転に向けた機運が高まっていることを踏まえて、撤退リスクが小さく交流人口の増加が期待できる本社事業所の立地を促進
- 研究施設と共に、通常 3 % の設備補助率を **5 %** に設定

② 研究施設

- 本県が有する最先端の科学技術基盤(SPring-8、SACLA、富岳など)を生かした産学連携機会の創出が期待できる研究施設の立地を促進



【三田市に研究施設を新設した「株PILLAR IC棟」】

Ⅱ. 戦略的な産業立地の促進

3 立地環境の向上

(1) 新たな産業団地

① (仮称) 神戸複合産業団地南地区産業団地 (神戸市)

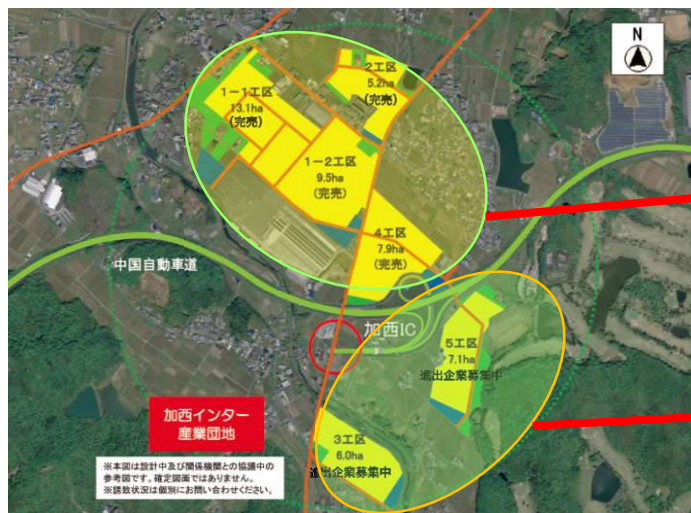
- ・ 既に150社以上が進出する「神戸テクノ・ロジスティックパーク」及び神戸西ICに隣接する西神戸ゴルフ場跡地を活用して、令和8年以降の分譲開始に向けて神戸市が造成中（全体面積：約100ha）
- ・ 太陽光などの再生可能エネルギーの活用や脱炭素型のインフラ整備など環境価値の向上を図り、先進技術の開発・発展に寄与するスマート産業団地

② 加西インター産業団地（第2期）（加西市）

- ・ 中国自動車道加西IC北側で令和元年度に造成開始した第1期に続き、同IC南側の第2期事業がスタート
- ・ 令和8～9年完成予定の第2期事業（約13ha）区画は現在進出企業募集中

③ フェニックス事業用地（県港湾課）

- ・ 尼崎西宮芦屋港に位置し、阪神高速5号湾岸線尼崎東海岸ランプから約2分の好立地
- ・ 分譲区画約39.2haの内、B-1区画はR7年に分譲されており、その他の区画も順次分譲を予定



＜参考1＞
加西インター産業団地
航空写真

第1期（完売）

第2期

R7分譲



＜参考2＞
フェニックス事業用地
航空写真

Ⅱ. 戦略的な産業立地の促進

(2) 地域未来投資促進法の活用

① 概要

- 県・市が策定した基本計画に適合する「地域経済牽引事業計画」を企業が策定し、県から承認を得ることで、法人税等の優遇措置や日本政策金融公庫からの低利融資等の支援が受けられる。

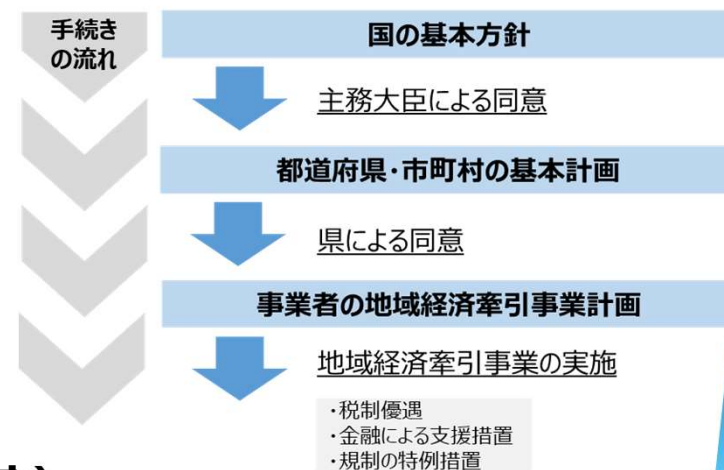
【地域経済牽引事業計画策定数】 139件（R7.8月末時点）

② 基本計画策定区域

ア 県全域を対象とした基本計画

- 製造業をはじめ、農林水産・デジタル・観光・スポーツ・エネルギー等、幅広い産業の事業展開を支援

イ 地域ごとの特性に応じた市町単位の基本計画（21市町策定）



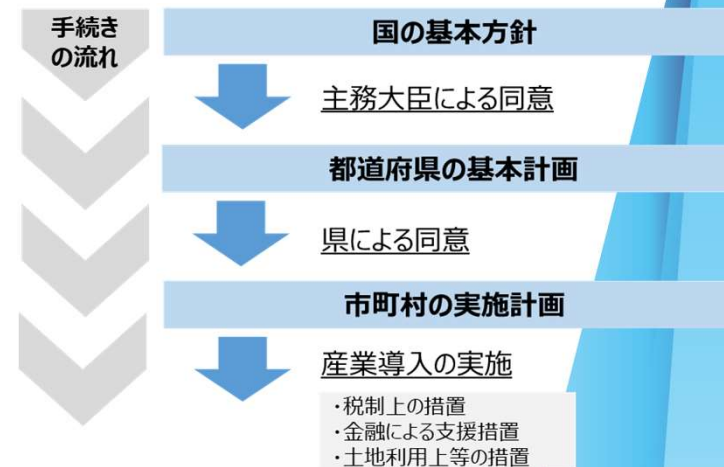
(3) 農村産業法の活用

① 概要

- 農村地域への農業以外の産業の導入や農業従事者の当該導入産業への就業を促進し、農業と導入産業の均衡のある発展と雇用構造の高度化を図る。
- 県が定めた基本計画に即して市町が実施計画を策定することで、農地を産業団地に転換する際の農地転用に係る配慮を受けられるほか、農家が農用地を譲渡する場合の所得税が軽減

② 対象地域

- 農業振興地域、振興山村、過疎地域を含む市町（人口20万人未満）
【産業導入地区】18市町42地区（R7.8月末時点）



Ⅱ. 戦略的な産業立地の促進

4 関係機関と連携した立地支援

(1) 立地サポート体制の整備

① ひょうご産業活性化センター

- ・（公財）ひょうご産業活性化センター内に立地情報の提供や相談業務を行う総合窓口として「ひょうご・神戸投資サポートセンター」、「兵庫県ビジネスサポートセンター・東京」を設置
- ・ 民間企業OBの嘱託員を配置し、工場用地への現地訪問や随時実施するアンケートを基にした企業訪問を行うなど、きめ細やかな立地サポートを機動的に実施
- ・ 令和6年度から、提携する不動産会社から民有地情報を収集し、企業ニーズに応じてタイムリーに用地を斡旋する専門員を配置
- ・ 首都圏等で開催される各種展示会にブース出展等し、兵庫県の魅力や優遇制度を効果的に発信することで、企業誘致を促進

○ R6年度 企業訪問・相談対応等実績

区 分	国内企業	外資系企業	合 計
ひょうご・神戸 投資サポートセンター	1,203	552	1,755
兵庫県ビジネス サポートセンター東京	157	50	207
合 計	1,360	602	1,962

○ サポセン・BSC東京の活動による企業立地実績

年 度	国内企業	外資系企業	合 計
R6	16	3	19

○ Japan Robot Week 2024(東京)へブース出展



Ⅱ. 戦略的な産業立地の促進

(2) 国の支援制度の活用

① 産業用地マッチング事業（R7～）

- 工場適地調査の結果を活用し、産業用地を探している企業のニーズに応じた産業用地マッチング事業を実施

② 産業用地整備促進伴走支援事業（R6～）

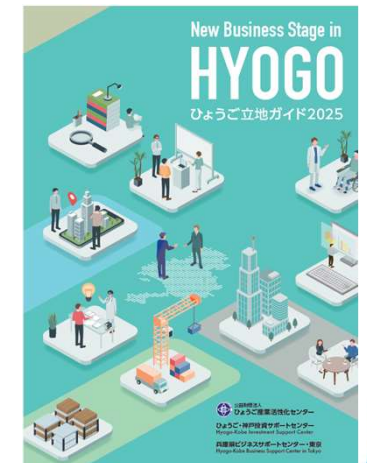
- 産業用地整備に取り組む地方公共団体等に対し、プロジェクトマネジメントや関係法令に関する助言等の伴走支援や研修会を通じて、産業用地整備を促進

【県内市町採択実績】 R6洲本市、R7小野市

○産業用地整備の流れ（産業用地整備促進伴走支援事業）



○立地支援制度パンフレット ○ひょうご立地ガイド2025



(3) 県外企業へのプロモーション

① 広報資材の活用

- 産業立地条例に基づく支援制度や分譲中の主な産業団地をまとめたパンフレットを作成
- 主に外資系企業に向けた、本県の立地優位性や県内各地の景観を収めたプロモーション動画を作成

② 経済産業省の産業用地検索サイト『METI土地ナビ』

- 工場立地法に基づき調査した工場適地を産業用地を求める企業に向けて発信する経済産業省の専用サイト
- 企業は求める産業用地の条件や住所地などから検索可能

○METI土地ナビ



Ⅲ. 適正計量の推進

1 特定計量器の供給確保と精度維持

- ・ 質量、面積、体積、濃度等の計量は、産業活動や県民生活の基盤をなすものであることから、計量法に基づく、計量の適正化を推進

(1) 計量関係事業の届出・登録（56千円）

- ・ 特定計量器製造事業者等の届出
- ・ 計量証明事業者の登録、適正計量管理事業所の指定

(2) 特定計量器の検定・検査（41,368千円）

- ・ 製造及び修理した特定計量器の検定
- ・ 使用中の質量計及び皮革面積計の定期検査
- ・ 特定計量器の精度検査のための基準器の検査

(3) 特定計量器関係事業所等への立入検査（338千円）

- ・ 計量関係事業者への立入検査
- ・ 特定計量器を使用している事業所への立入検査



【タクシーメーター装置検査】

2 計量意識の向上

(1) 計量士等の指導・育成

- ・ 主任計量者試験、適正計量管理主任者講習会の実施

(2) 消費者等に対する啓発

- ・ 11月1日の計量記念日にちなんだ「計量強調月間（11月）」に、「くらしと計量展」等の啓発事業を市町・関係団体と連携し実施

【令和6年度開催実績】

開催日：令和6年11月9日～10日（姫路市農業振興センター）

来場者数：約2,900名



【消費者等への啓発ポスター】



兵庫県